

第1回萩市民病院経営強化プラン策定委員会 議事概要

○日時 令和5年8月7日（月） 19時～20時15分

○場所 萩市総合福祉センター 多目的ホール

○出席委員等

- ・委員 10名／11名 出席
- ・オブザーバー 2名／3名 出席

○議事

(1)設置要綱について

- ・事務局から説明 ⇒質疑無し

(2)公立病院経営強化プラン策定に係るガイドライン等について

(3)策定スケジュールについて

(4)萩市民病院経営強化プランについて(全体構成案)

- ・3つの議題を一括して説明した後、質疑や意見等

■主な意見、質疑等

○市民病院は、へき医療地拠点病院の指定を受けており、強化プランにおける「へき地医療」に関する項目立てについて、順番や位置付けについて検討を。

⇒項目の順番は、現時点ではガイドラインと同じ順番で整理させていただいている。

⇒離島を含め、へき地医療は市民病院に強く求められていると認識しており、項目の出し方についても、いただいた意見を踏まえ策定作業の中で検討していきたい。

○調整会議での確認は、今年度に行う最後の調整会議で確認するとあったが、調整会議の場に持っていくまでに、関係者と内容の確認などを含めてしっかり調整ができていますようお願いしたい。

○プラン策定に当たり、繰出金のこれまでの考え方との変更や、設備投資への負担など、一般会計に大きな負担が生じるものがあれば、財政当局と事前の協議をお願いしたい。

⇒総務省の繰出基準に一定の考え方は示されているものの、具体的な計算方法は示されていないものもあり、市民病院と財政課でかねてより協議し、現在の繰出基準、算定方法に至っているところ。プラン策定にあたり、状況に変化が生じる場合は、その都度財政当局と協議し、共通理解のもとルールづくりをしていきたい。投資についても通常と変わる状況が生じた場合は、随時協議させていただきたい。

○経営強化をしていくには事務職のマンパワーも必要。現在、市から事務職の派遣を行っているが、プロパー人材の確保・育成など、事務体制の強化もしっかりプランの中に組み込んでいただきたい。

⇒事務職員については、一般行政職が病院に派遣され医療関係、経営的なことを担うことは医療の基礎的知識、専門性や経験が必要なことから大変厳しいと認識している。プランを実行する上でも事務職員が担う役割は大きいため、医療職の人材確保と並行して、事務職の確保・育成についてもプランの中に掲げていければよいと考える。

○市で毎年行っている市民満足度調査においても「持続可能な医療体制の構築」は市民の期待が大きい分野と分析している。また、移住者目線でも、機能が充実した病院の有無は、移住先を決める大きなポイントとなっている。長期的視点で安定的なプランとなるよう検討を進めていただきたい。

○人口減少対策からも、地方にとって医療機関は、就職先など産業面としての機能も合わせ持つ。看護師確保については、市の関係部署も一緒に対策を進めているところ。人材確保に関するプランの項目について手厚く記載をお願いしたい。

⇒外から人を呼び込むことに加え、地域の中でも人材を育てていかなければ看護師はなかなか集まらない。病院の魅力を伝え人材確保に努めていきたい。

⇒地域の中で人材を育てる面でも、職場体験などを通じ、地域の中学生などに医療職の魅力を発信していきたい。教育委員会の助けをいただけるようなシステムが構築できるよう、市側の協力もお願いしたい。

○県内の他の公立病院が小学生中学生を集めて広く看護実習をされており、報道で大きく取り上げられていた。プランにも掲げ、急ぎやるべきだろうと思う。現在、キックオフの段階ではあるが、なるべく早くやっていただきたいと強く思う。関係機関もバックアップしていきたい。

○萩市の高齢化率が6月末現在で44.8%。ほぼ半数が65歳以上。令和12年には75歳の人口がピークに達し、約1万2,000人と予想している。高齢者の疾病に対応できる体制についてもしっかりお願いしたい。介護の関係についても、円滑な受入や、在宅への送り出し環境を含め、ケアマネージャーや介護施設等の連携の強化をしっかりと掲げていただきたい。市民病院の地域連携室と介護関係者等との連携強化が図れば良い。

○萩市では出生数が非常に少ない状況。小さい子どもを持つ親が安心して萩で暮らしていけるよう、小児科の機能をしっかり維持していただきたく、この計画にも大きな項目として掲げていただきたい。

- 令和4年中の救急搬送は3,246件と、前年に比べて200件の増加となっている。人口5万人程度の市は、今後、人口が減少しても、2030年までは救急件数は減少しないという推計もあり、概ね3,000件程度で推移をしていくと思っている。市民病院においても地域の公立病院として、また最後の砦として、二次医療救急の受け入れ体制の強化を図っていただきたい。
- 医師、看護師以外にも、医療技術職には薬剤師など人材の確保に苦勞している状況もある。
- 調整会議では、プランのうち地域医療構想に係る部分について、整合性等に関して協議するということになっている。また県では、今年度、第8次保健医療計画の策定、感染症予防計画の改定を予定している。今回の経営強化プランの中で盛り込まれる様々な項目との関連性の高い計画の策定、改定となっている。

(5)その他

- ・次回は9月の下旬から10月ごろの開催を予定

以上